

第14号 琴の浦荘便り

平成31年1月発行
 特別養護老人ホーム 琴の浦荘
 琴海戸根町743番地47
 095-884-3510

2019 新年のご挨拶 新春

新年おめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より、入居者(利用者)様、ご家族、地域の皆様、関係機関より暖かいご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えることができたことを心より御礼申し上げます。

昨年は、医療・介護の同時改訂がありました。改定率0.54%アップと事業所にとっては喜ばしく思える反面、制度理解の難しさ、サービスの質を問われる内容の厳しさとの両面を実感しているところです。また慢性的な介護職員不足の問題に加えその他の職種についても人材不足が話題となっています。その中で、今年10月より一定の経験を有する介護職員については、評価を受けられる仕組みが制度として決定し、専門職として希望が持てる大きな改訂となりました。しかし、この改訂が現実的な人材確保へと繋がるか否かはまだまだ不安が残るところです。

私としては、「人材」は「人財」という考えの元、これからも1人ひとりの職員のモチベーションの向上を図っていき、各職員がやりがいを持ち、仕事をしていく事が、サービスの質の向上に繋がっていく事と考え、職員と向き合って参ります。

入居者(利用者)様、ご家族、職員が安心できる環境づくりに今年も邁進して参ります。

また、平成30年は、法人設立10周年という記念すべき節目の年でした。琴の浦荘では、法人内の他の事業所協力の元、「琴の浦荘くんち」を開催しました。職員による「ココデショ」の披露、昔ながらの出店等も設営し、ご家族、地域の皆様にも参加していただき盛大なうちに終えることができました。参加された皆様より、お喜びの声をいただき、今後の行事企画に活かしていきたいと考えています。

今年の干支は「亥」です。「猪突猛進」という言葉もありますが、今後の介護保険制度の方向性にも柔軟に対応しつつ、「地域の中に入っていく」という施設の方針をぶれることなく、継続し施設運営を引き続き行って参ります。本年も皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第1回琴の浦荘くんちの様子



特別養護老人ホーム琴の浦荘
 施設長 松永 智志

もちつき大会

12月27日(金)



よいしょ～よいしょ～



毎年恒例のもちつき大会が開催されました。地域住民の方にもご協力いただき、「よいしょ～」とかけ声があがると、杵を持つ手に自然と力が入り、力強くもちをついていました。利用者様より「楽しかった。昔、ようつきよった。」と昔を思い出しながら、鏡もち用のもち丸めを手伝っていただきました。

こすもすクラブとの交流会

12月27日(金)



「ジャンボ年賀状」をデイサービス、特養の利用者様へ届けてくれました。子ども達より「来年も元気でいてください。」と声をかけられ年賀状を受け取ると、感激されていました。

クリスマスコンサート

12月15日(土)



松尾ピアノ教室の皆様によるコンサートが開催され、子ども達の澄み切った伸びやかな声に感動しました。演奏してくれた子ども達のおかげで、入居者様やデイサービスの利用者様、地域の皆様と一足早いクリスマスの雰囲気を感じられるクリスマスコンサートとなりました。

クリスマス会～デイサービス～

12月19日～25日



19日～25日までの期間、利用者様と一緒にケーキづくりやクリスマスソングの合唱、お楽しみビンゴ大会を開催しました。手作りしたケーキの味の感想を尋ねると、「家ではあんまり食べないから、特別な日だね。甘さもちょうどいい。」と大変喜んでいらっしゃいました。

総合防災訓練

12月5日(水)



長崎北消防署の立ち合いのもと、夜間帯の火災発生を想定した避難誘導訓練を行いました。誘導者役や利用者様役、応援職員役に分かれ、初期消火から避難誘導までの一連の流れを体験しました。職員一人ひとりが互いに声をかけ合い、緊張感のある中での訓練となりました。訓練終了後には、消火器の使い方のご指導をいただきました。今後も訓練を重ね、火災だけでなく日々防災意識を高めていきたいと思っております。

認知症サポーター養成講座

12月5日(水)



形上小学校 4年生と認知症について寸劇を交え学習した後、どのような関わりを持つと良いか、各班で考え発表を行いました。サポートリーダーと一緒に考える姿から、街づくりを担う子ども達の成長を感じることができました。